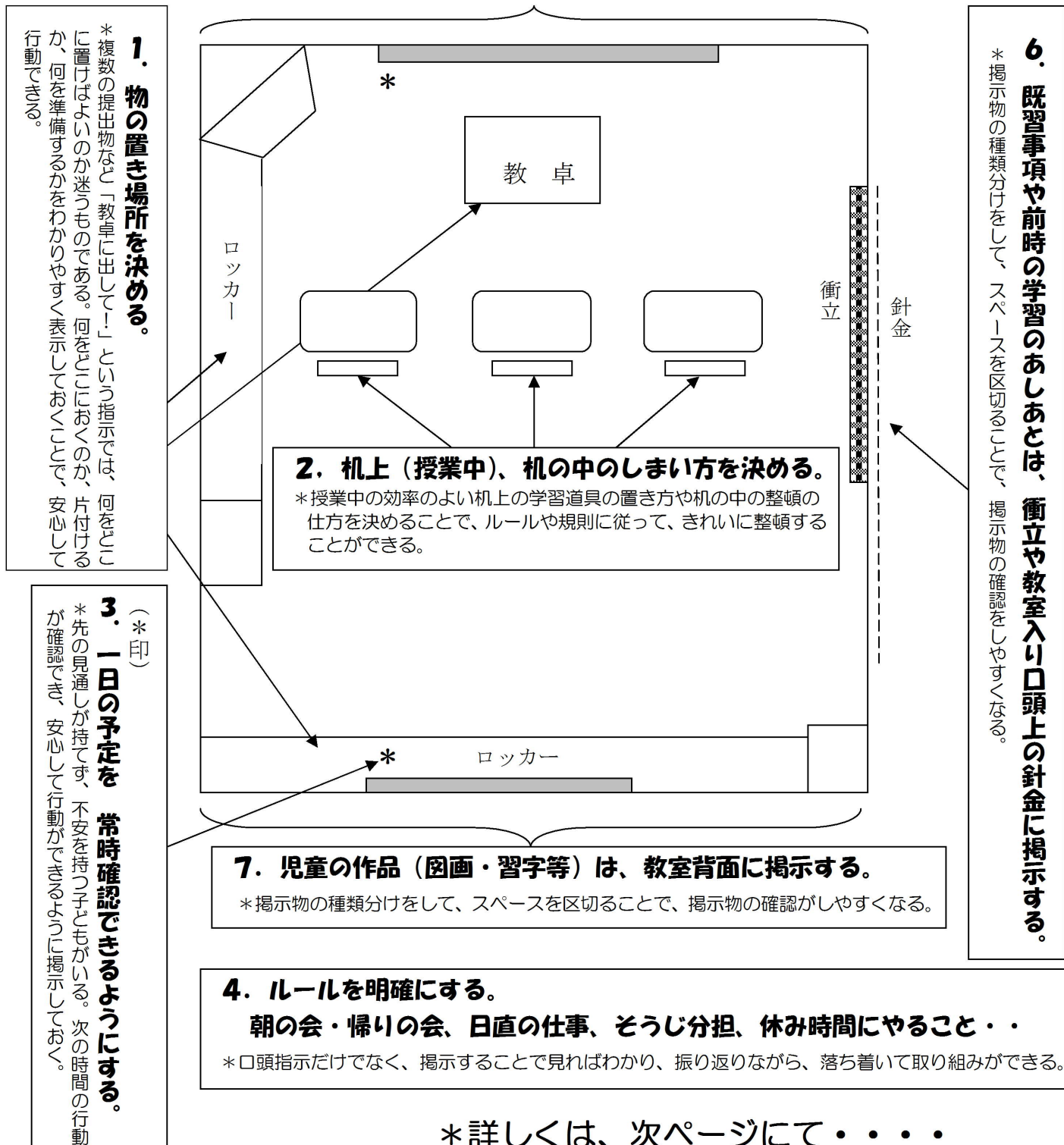


教室環境のユニバーサルデザイン

教室の中にはいろいろなタイプの子もたちが共に生活や学習をしている。どの子も安心して、落ち着いた生活が送れたり、楽しく、わかりやすい授業を受けられたりするためには、教室環境を整える必要がある。これから示す教室環境を整える方法は、特別な支援を必要とする児童はもとより、どの子にもあると安心できたり、わかりやすかったりするものである。教室にいる子どもたちのタイプに合わせて、必要な物を、学級にあったものにアレンジして、活用してほしい。

5. 黒板周り（教室前面）は、すっきりさせる。

*授業中、教室前方に興味をひく物があると、注意がそこに行き、先生の指示を聞き逃したりしてしまう。子どもたちの注意をそらしたり、大切な情報をわかりにくくしたりする余分な情報を取り除き、「今大切な情報」がわかりやすい環境づくりをする。



*詳しくは、次ページにて・・・

教室環境のユニバーサルデザイン

1. 物の置き場所を決める。

・・・*複数の提出物など「教卓に出して!」という指示では、何をどこに置けばよいのか迷うものである。何をどこにおくのか、片付けるか、何を準備するかをわかりやすく表示しておくことで、安心して行動できる。



- ①教科書・ノート類の置き場所（机の中・ロッカー・ランドセル?）
- ②ランドセル（どこに どのように?）
- ③体操服
- ④習字道具・水彩道具・ピアニカ
- ⑤辞書
- ⑥読書の本
- ⑦

児童の発達段階に応じて・・・

- 1) 正しい置き方を写真や絵で表示
- 2) 文字のみで表示
- 3) 口頭で置き場所を指示

2. 机上（授業中）、机の中のしまい方を決める。

・・・*授業中の机の上に授業以外の不要なものが置かれていると、そちらに興味に向いたり、机の中の整理ができていなくて必要な物が即準備できなかつたりし、授業に集中しにくくなる。授業中の効率のよい机上の学習道具の置き方や机の中の整頓の仕方を決めることで、ルールや規則に従って、学習に集中でき、きれいに整頓することができる。



物がどこにあるのかわかりやすかったり、取り出しやすかったりする。片付けも決められたところにしまえばよいので戸惑いも少なく、整頓できる。



3. 1日の予定を 常時確認できるようにする。

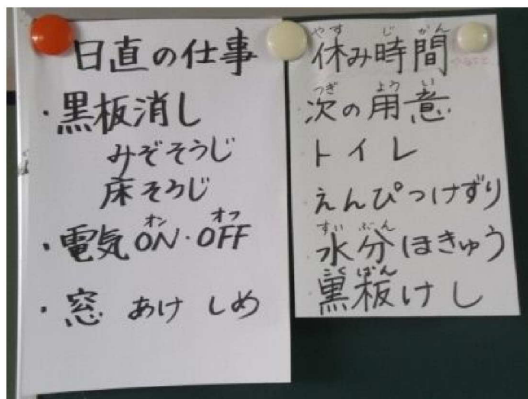
・・・*先の見通しが持てず、不安を持つ子どもがいる。次の時間の行動が確認でき、安心して行動ができるように掲示しておく。



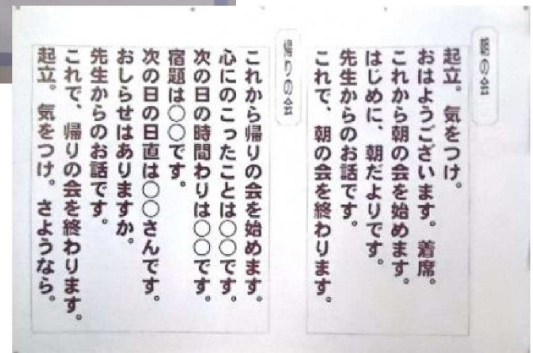
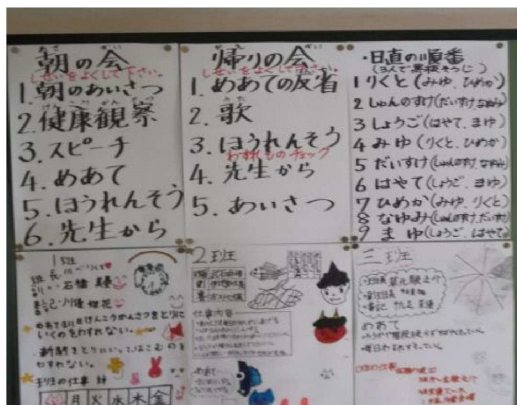
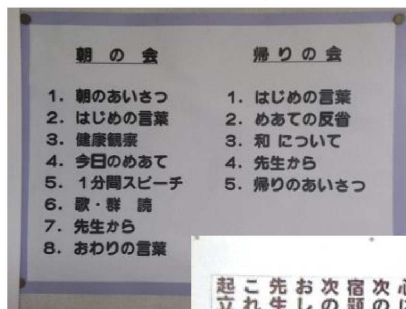
1日の流れがわかるように、教室内の決まった場所に表示しておく。

4. ルールを明確にする。

・・・*口頭指示だけでなく、掲示することで見ればわかり、振り返りながら、落ち着いて取り組みができる。

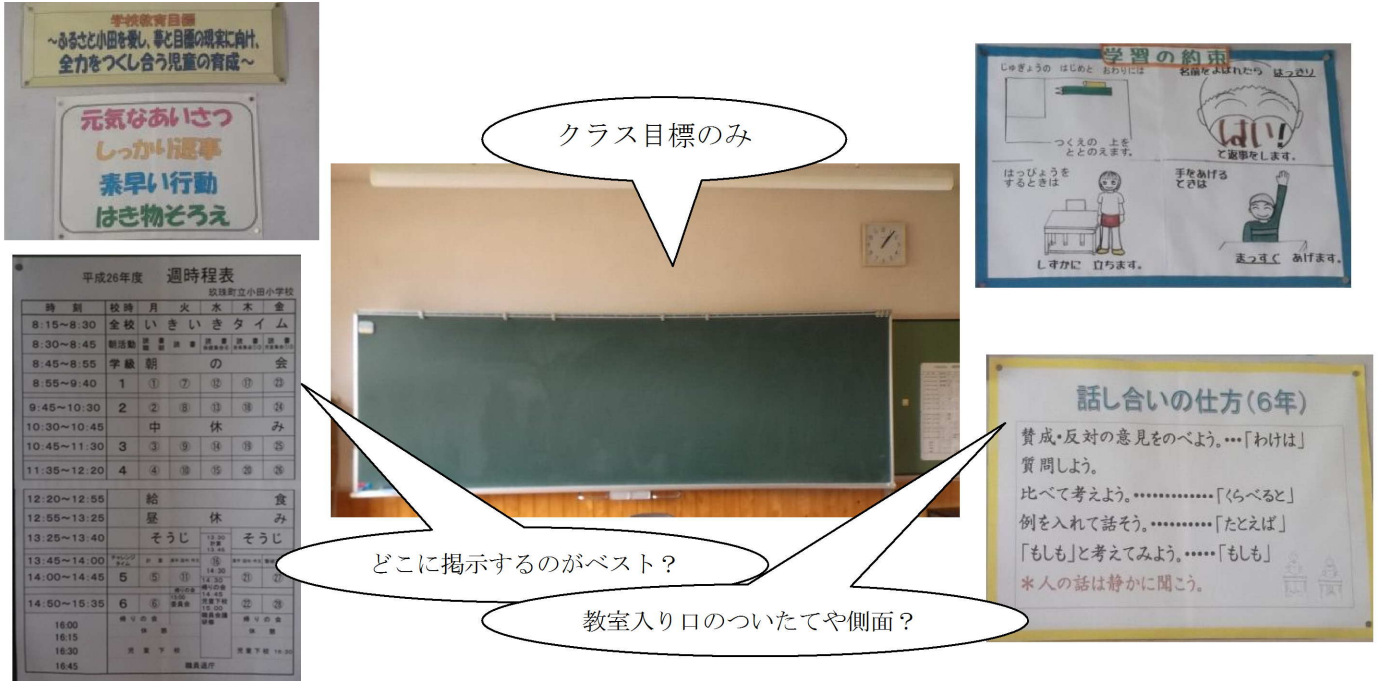


朝の会・帰りの会
日直の仕事
休み時間にやること
そうじの分担
等



5. 黒板周り（教室前面）はすっきりさせる。

- ・・・*授業中、教室前方に興味をひく物があると、注意がそこに行き、先生の指示を聞き逃したりしてしまいます。子どもたちの注意をそらしたり、大切な情報をわかりにくくしたりする余分な情報を取り除き、「今大切な情報」がわかりやすい環境づくりをする。



6. 既習事項や前時の学習のあしあとは、衝立や教室入り口頭上の針金に掲示する。

- ・・・*学習時に振り返りができる。また、掲示物の種類分けをして、スペースを区切ることで、掲示物の確認をしやすくなる。



7. 児童の作品（図画・習字等）は、教室背面に掲示する。

- ・・・*学習時に必要のない掲示物は、余分な情報を省くため、背面に掲示する。掲示物の種類分けをして、スペースを区切ることで、掲示物の確認をしやすくなる。

